

# 令和7年度 学校評価報告書

学校名	三田市立 三田小学校
-----	------------

## 1 学校教育目標

『ひと自分も 学校もふるさとも 大切にできる 三田っ子の育成』  
 ～学びに向かう力・ゆたかな心・たくましい体で「未来を切り開く力」を育む学校～

## 2 今年度の学校重点目標

- (1) 「学びに向かう力」の育成
- (2) 「ゆたかな心」の育成
- (3) 「たくましい体」の育成
- (4) 多様な教育的ニーズに応じた教育の推進
- (5) 地域とともにある学校づくりの推進

## 3 総合的な自己評価

運動会・音楽会・だけでなく、校外学習（校区探検、社会見学など）・児童会活動（三田小祭り、感謝のつどい、6年生を送る会）を年間計画通りに実施することができ、児童、職員とも見通しを持って学校生活を送ることができた。特に、音楽会や図工展においては、会場設営・校舎内や会場の飾りつけなど高学年の実行委員会を中心に児童が主体となって取り組むことができた。今年度から取り組んでいる「縦割り班活動」は「スマイルタイム」として年間を通して取り組んだが、回数を重ねていくごとに、課題を自ら見つけ、自分たちで改善していくことができ、当初の目的を達成したと考える。また、地域行事でも6年生が積極的にボランティアを務めるなど、学校目標「ひと自分も学校もふるさとも大切にできる三田っ子の育成」が目指す児童の姿が見られた。

業務改善の推進については、毎週水曜日は18時退勤、月に1回金曜日は17時半退勤と設定したが、まだまだ完全実施には至っていない。引き続き業務改善の意識を高く持ち、実践に移していきたい。

今年度から実施した中高学年の教科担任制については、多くの教員が目で見守ることができ、変化に気づきやすかったり、子どもたちも相談しやすかったりと児童、保護者、職員共に高い評価を得ている。今後も児童や教職員への負担がないように配慮しながら、保護者・地域との連携のもと、児童の成長、達成感につながる教育活動に取り組んでいく。

## 4 総合的な学校関係者評価

- ・今年度、実施された1年間の学習のすべての項目において、児童・保護者・地域・教職員との相互の連携がとられている。
- ・子どもの主体性を大切にされた教育活動が実践されている。単年で終わるのではなく継続してほしい。
- ・学校評価・教育方針全般において一定の評価ができる。
- ・今後とも地域ボランティアの熱い思いに応えられるような、地域とともにある学校づくりの推進を継続してほしい。

## 5 評価結果

自己評価			学校関係者評価	
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
教育目標 教育方針	児童、地域、学校の実態や、教育課題への即応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校生活を楽しく送れている」などの肯定的評価は保護者95%、児童89%と高い数値ではあるが、否定的な児童11%(約66人)の存在を意識し、児童の気持ちに寄り添う指導、自己肯定感を高める取り組みが引き続き必要である。</li> <li>・運動会や音楽会などの行事に対しては高い評価を維持できている。保護者の満足感や児童の達成感につながる行事運営が進められていることが分かるが、目標に向かって取り組んでいるかといえば、17%程度の児童が実践できていない。</li> <li>・「感謝のつどい」など、行事によっては来賓、地域の方を招き、本年度から実施している「縦割り班」を軸として全校生で実施することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任を中心に職員全体で、児童の様子を常に把握し、細かな変容を見逃さず、充実した学校生活を送れるような工夫を常日頃から実践する。</li> <li>・学校、学年、学級の目標を担任が意識して、各教科学習や特別活動、学校行事等のあらゆる場面において、児童に主体性を持たせ、自身の目標設定と、活動の振り返りを行う機会を設ける。</li> <li>・可能な限り、学校支援ボランティア、地域の方々、保護者の方々の協力を受け、「地域とともにある学校づくりの推進」を継続していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等で、教師が指示をせずに児童だけでやりきることは、難しいことであると考え、「感謝の集い」でそれが実践できたことは素晴らしい。</li> <li>・3年生が行った「ハッピースマイルプロジェクト」は素晴らしい取り組みだ。多くの人へのアナウンスをするなど、ぜひ継続して行ってほしい。</li> <li>・地域の子どもの食堂に多くの先生が参加し、子どもの様子を共有し、地域とともにある学校の視点を大切にしてほしい。</li> </ul>
	めざす児童像、教師像、学校像の具現化に向けた指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「友だちを大切にする、違いを認め合う」ことに対しては、肯定的評価は、三者とも95%を超えているが、「あてはまる」が職員36%、児童70%、保護者79%と他の項目に比べて低く課題がある。</li> <li>・「自分たちの校区が好き」という項目については、保護者96%、児童92%と肯定的評価が高かった。地域人材を生かした取り組みについても、職員88%と高い肯定的評価に繋がっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度から新たに設定した学校目標の実現に向け、児童の発意、発案を生かしながら学校運営をおこなっていき、目指す学校像の具現化を目指す。</li> <li>・児童間のトラブルに対しては、丁寧な聞き取りや道徳の授業、特別活動を通し、学校目標にもある「ひと自分も大切にすること」を意識させ、解消に向かわせる。</li> <li>・本年度より、更に進めている有馬高校との連携、地域人材との関わりをより充実させいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童中心の教育活動がなされているので、経年で継続してほしい。</li> <li>・主体性を引き出す研究を推進し、三田市をけん引してほしい。</li> </ul>
教育課程	教育課程の編成(週時程・日課表・行事等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務担当が中心となり、授業時数の管理を学年、部会で確認しながら、計画的に行うことができた。</li> <li>・運動会など学校全体で取り組む行事をはじめ、各学年で行う行事についても、各学年で工夫しながら取り組めたことから、昨年度に引き続き三者ともほぼ100%の肯定的評価を得た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も年間計画を確認しながら、見通しを持って取り組んでいく。</li> <li>・行事については、児童、教員がゆとりを持って取り組めるよう、精選も視野に入れながら計画していく。また、マンネリ化しないように今年度から取り組んでいる「縦割り班活動」を活用していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事については、子ども達が本当によく頑張っている。先生方も子どもたちを見守れている。</li> </ul>
	教科における年間計画の内容や時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育科では、今年度も引き続き、朝のチャレンジタイム(縄跳び活動)や体育の学習時間をカリキュラムに組み込み、継続的に取り組めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の帯時間帯の使い方は検討が必要である。チャレンジタイムについても、実施の意図などを児童、教員がしっかりと確認しながら行うことが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事については、子ども達が充実を感じられる取り組みができている印象がある。</li> </ul>
学習指導	研修による指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を招いての学団研など、小規模の研修をすることによって、学びを深めることができ、実践に生かすことができた。</li> <li>・初任者研修では、面談をすることで、学習指導のフィードバックをすることができた。各研修が計画的に行えなかったことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、自分事として考え、学びを実践に生かせるような研修を実施していく。</li> <li>・若手教員が増えていく中、「初任者チーム研」の組織力をさらに高めていく。年度初めと学期初めに指導日を設定・提案し、共通理解していく。また、各担任と連携し、授業を参観する日を前もって決め、週案に書き込むなど、計画を立てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手の教員の育成に向けて組織的に進め、児童の指導に意欲を持って取り組めるよう工夫して実施してほしい。</li> </ul>
	新学習指導要領の理念を踏まえた基礎基本の定着と思考力を伸ばすための授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習への理解に関する項目では、肯定的評価が職員100%、児童89%、保護者94%と高い数値である。基礎基本の学力に関する項目も意識して、基礎基本の定着を引き続き課題としていく。</li> <li>・中学年から教科担任制を推進したことにより、学年のどの教員にも日常的に関わってもら</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本の定着と思考力を伸ばすための手立てとしておこなう取り組みの具体</li> <li>① 意味や使い方に着目させた漢字学習と反復練習、間違い直しの徹底</li> <li>② 朝学習や授業始めの時間を使った計算の反復練習</li> <li>③ 学習の見通しや目標を明確にした学習習慣の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後学習では、各クラスのカラーがよくわかる。なぜ、勉強しようとしているのかを意識させるなどの環境を整えてほしい。</li> <li>・どのクラスでも、学習の意義を感じながら授業に取り組めるような学級経営を行ってほしい。</li> </ul>

		<p>えることで児童理解が進むことと、話せる人が増えるため、その子に合わせて声掛けや学習指導ができることが授業改善にもつながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司書と連携し、授業内容の関連本を書庫で貸し出すことで、児童の興味に合う本を学年へ提供できた。</li> </ul>	<p>確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>④ 一人ひとりが考えをもち、発言できる機会の充実</li> <li>⑤ どの子も意欲をもてる授業となる導入の工夫</li> <li>⑥ 学習に関連した本の紹介や様々なジャンルの本に触れることのできる読書環境づくり</li> <li>⑦ 個に応じた支援と個別指導の充実</li> <li>⑧ ICT を活用した考えや成果物の共有と視覚支援を有効に使った授業づくり</li> <li>⑨ 児童の実態に合わせた宿題の内容や量の調節</li> </ul>	
学力向上 指導改善	自主的により良い学校づくりに取り組もうとする児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より、「縦割り班活動」を進め、学年を超えた人間関係、高学年が学校を引っ張っていくという意識づけをおこなった。課題を解決しながら、取り組む姿勢が段階的に見られた。</li> <li>・各クラス毎日、その日の目標を設定し、よりよいクラスづくりのために自発的に取り組めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会を中心に、「縦割り班活動」などを改善しながら、より良い学校づくりを目指した取り組みを計画、実行していく。</li> <li>・児童が月目標をより意識できるように朝会などで週番の職員が発信していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童を見守り、主体性を持たせる取り組みが大切である。大変だと思うが、仕掛け、働きかけをお願いする。</li> </ul>
生徒指導	児童一人ひとりの内面を理解し、子どもの心に寄り添った指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困ったときに相談にのってくれるに関する項目では、三者とも肯定的評価が85%以上と高い数値であった。</li> <li>・月1回の生活アンケートや学期に1回のいじめアンケートを活用して、児童が担任に悩みを相談できる機会とし、いじめの未然防止、早期発見につなげている。</li> <li>・教職員が100%肯定的評価なのに対し、保護者は9%ができていないと感じている。「いじめ」の認識や対応の仕方など、保護者の理解が得られていないことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習規律の確立と学年全体での定期的な確認を行う。</li> <li>・報告、連絡、相談を忘れず、丁寧な対応を心掛け、保護者とよい関係を築く。</li> <li>・特に生活や学習で戸惑いや困難さを感じている児童や保護者へのアプローチも継続して行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の様子を見ていると、約束事を守ることにに対して緩い学年があるが、年間を通しては全体的に成長がみられる。</li> <li>・教員への信頼が大切である。管理職も含め、組織対応をすることが信頼につながる。</li> </ul>
	いじめ防止基本方針の下、いじめを許さない土壌づくりへの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期発見・早期対応に取り組むに関する項目では、教職員の肯定的評価が100%といじめ対応に対する共通理解のもと取り組むことができた。</li> <li>・いじめ等の事案、児童の抱える問題等について、すぐに学年、生徒指導担当、管理職に相談する体制が整っている。</li> <li>・指導内容を諸対応メモにまとめ、回覧することで、関係職員全体で共通理解できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・地域が連携して子どもたちの成長を見守る体制づくりを推進していく。</li> <li>・教員による丁寧な児童への聞き取りを休み時間内に終わらせることを基本とし、学年や学団、加配教員、管理職で対応にあたる。</li> <li>・「いじめ」の認識のことや対応の仕方など、通信や懇談などで保護者への啓発をしていく。</li> <li>・引き続き、生活アンケートやいじめアンケート、教育相談や気になった児童への声かけをしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の様子の変容を日頃から見逃さない教職員の体制づくりや情報共有が密にできる教職員体制にしてほしい。</li> </ul>
	あいさつや清掃、言葉遣いなどの基本的な生活習慣・マナーの確立を目指した指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつは、あいさつ運動など意識して取り組んでいるときや教員からあいさつをすることで、できるようになってきている。ただ、自発的なあいさつや気持ちの良いあいさつには課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にとって気持ちの良い挨拶を自分ごとに置き換えながら、児童自らが考えられるように根強く、声をかけていく。</li> </ul>	
保護者・地域住民との連携	学校教育活動に関する情報提供を積極的に行い、保護者・地域の方々の理解と協力を得る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に学校通信、学年通信を配信しており、通信、HP での情報発信に関する項目では、保護者の肯定的評価が95%と高い数値であった。ただ、HP 更新のタイミングを早くしてほしいという記述意見もあった。</li> <li>・通信アプリ「まなびポケット」を利用し、保護者、児童への迅速な情報発信を行えている。</li> <li>・「地域とともにある学校づくりの推進」を目指し、地域コーディネーターと連携し学校支援ボランティアに学校教育活動に協力いただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への情報提供については、主にまなびポケットによる発信となるが、必要な情報を精査しながら行っていく。</li> <li>・学校支援ボランティアとの調整において、学校側の連絡ミスが発生したことがあった。学校内の情報共有を強化し、円滑なボランティア活動が運営できるよう計画していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が多忙なのは理解できるが、業務を工夫して、色々な過ごし方をしている児童の地域での様子を見てほしい。</li> <li>・子ども食堂では、社会に出て買い物学習を実施したりと色々な経験をさせている。</li> <li>・地域施設で学習させるときはスマホの使用制限などルールを設定して行っている。</li> </ul>

6 学校自己評価の実施状況について

時期	内容
5月	運動会アンケート実施
7・8月	前期教職員学校評価実施 前期教職員学校評価分析
11月	音楽会のアンケート実施 後期教職員学校評価実施 児童・保護者学校評価実施
1月	後期学校評価分析・報告
2月・3月	学校関係者評価委員会の学校関係者評価 学校関係者評価を受け、次年度へ向けた方策検討

※学校自己評価…外部（児童生徒・保護者・地域等）アンケートの実施を含む

7 学校関係者評価委員会の活動について

時期	内容
6月	・学校経営方針・地域運営協議会の構成と年間計画 ・令和6年度学校評価について
10月	・前期学校評価（教職員）の報告 ・1学期の活動内容の報告（見守り隊・放課後学習・がんばりタイム・民生委員の友区児童会参加等） ・2学期の活動について（放課後学習・がんばりタイム・あいさつ運動）
2月	学校評価アンケート中間報告
3月	・学校評価アンケート結果・学校自己評価・総合的な学校評価について報告と次年度への改善内容について

8 学校評価の公表について

時期	手段	内容	添付
4月	ホームページ	学校評価結果を踏まえて、今年度の目標や指導方針を説明	
3月	ホームページ	自己評価及び関係者評価を公表	

※ 公表の具体がわかる印刷物等がある場合には添付願います